

やつしろ市議会だより

平成25年9月定例会



▲決意新たに第3期市議会議員

主 な 記 事

◎9月定例会の流れ	2
◎第5代正副議長あいさつ	2
◎質疑・一般質問（12人が登壇）	3
◎9月臨時会	7
◎議員紹介	8
◎委員会構成	10
◎各常任委員会報告	12
◎9月臨時会・9月定例会採決結果一覧	14～15
◎意見書提出	16
◎編集後記	16

第33号

平成25年12月1日発行

編集・文責

八代市議会広報委員会

☎0965-32-5984
(市議会事務局)

9月定例会の流れ（会期24日間）

月 日	会議名	内 容
10月 7日(月)	本会議（提案理由）	・ 市長より平成25年度一般会計補正予算を含む議案12件が提案
10月15日(火)	本会議（質疑・一般質問）	・ 12人が登壇し、議案及び市政について質疑・一般質問 ・ 17日(木)に市長より、1件の追加提案 ・ 各議案を関係常任委員会に付託
16日(水)	〃	
17日(木)	〃	
22日(火)	文教福祉委員会	・ 付託議案を各常任委員会で審査（請願陳情含む）
23日(水)	経済企業委員会	
24日(木)	建設環境委員会	
25日(金)	総務委員会	
30日(水)	本会議（討論・採決）	・ 各常任委員会委員長より審議結果報告後、採決 ・ 市長より平成24年度各会計決算議案12件が追加提案 ・ 決算審査特別委員会設置 ・ 市長より人事案件11件が追加提案され、採決 ・ 発議案第4号・5号・6号・7号が提案され、採決 ※各議案の採決結果については、14～15ページを御参照ください。

市民の皆様には、日ごろより市議会に対しまして、格別の御理解と力強い御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

私たちは、去る九月二十日に開かれました臨時会におきまして、第五代八代市議会議長並びに副議長に就任いたしました。

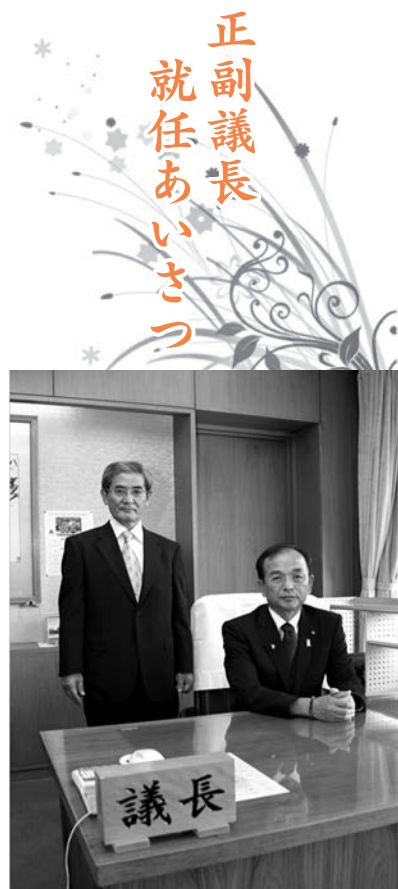
その職責の重さを十分認識し、開かれた、より信頼される議会を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

我が国におきましては、急速に進む少子高齢社会、長引く景気の低迷と雇用情勢の悪化、大震災の影響などにより先行きへの不透明感が強まり、多くの市民が不安を抱えておられます。

多岐にわたる課題への取り組みが求められる中、そして地方分権時代が本格化する今、市議会の果たす役割と責任は、従前に増して格段に重要になってきております。市議会といたしましては、今後一層、監視機能の強化や政策提言に努めてまいりますとともに、真摯に議論を重ね、活力にあふれ、市民の皆様が安心・安全に暮らせるまちづくりに、誠心誠意努力してまいります存でございます。

さて、この「やつしろ市議会だより」では、定例会の概要を初め、委員会報告、一般質問、採決結果及び特集記事など市議会の諸活動につきましてのさまざまな情報を掲載することにより、わかりやすい情報発信に努めてまいります。ごらんになられた市民の皆様が、市議会と市政に理解と関心を深められ、市議会をより身近に感じていただければ幸いです。

市民の皆様には、今後とも市議会の活動について、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。



議長 橋本 幸一 (右)
副議長 田中 安 (左)

質 疑

一 般 質 問



議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、10月15日から17日までの3日間、12人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとおりです。

教 育 関 連



西濱 和博

質問通告

○いじめ問題に対する本市の取り組みと
いじめ防止対策推進法の施行を受けての今
後について
○各種の資料的価値を有する郷土写真の保
存・活用方策について

◆いじめ問題に対する本市の取り組みとい
じめ防止対策推進法の施行を受けての今
後について

問 いじめ防止対策推進法の施行により、地
方公共団体等はあるような責務を担い、そし
て、いじめ問題への対応をどのように強化し
ていくのか伺う。

また、同法では努力義務とされているとこ
ろではあるが、本市は「いじめ防止基本方針」
を定める考えを持っているのか。あわせて
「いじめ問題対策連絡協議会」の設置につい
ての考えを教育長へ伺う。

答 教育長 いじめ問題に対して、学校だけ
でなく、社会が解決すべき課題として、国、
地方公共団体、家庭や地域住民等の連携によ
る取り組みが強化されていくと考える。本市
教育委員会も、社会からいじめをなくすとい
う熱意を持って、全ての子どもたちが安心して
学べる環境づくりに努める。「地方いじめ
防止基本方針」については、国・県の基本方
針を参酌しながら策定する。「いじめ問題対
策連絡協議会」の設置については、市長部局
とも協議し、前向きに検討する。

福 祉 関 連



庄野 末藏

質問通告

○八代養護学校の今後について
○八代市社会福祉協議会の活動について
○市が交付する各種福祉団体への補助金に
ついて

◆八代市社会福祉協議会の活動について

問 社協へ八千万円を超える補助金が、市か
ら人件費として、支出されており、社協を市
の組織の一部と思う人も多く、活動内容も余
り知られていない中、社協の役割と活動はど
うなっているか。これからの少子高齢化社会
において、ボランティア活動が重要になると
思うが、一体的な活動支援が不足しているこ
ろ。市はどのように考えているか伺う。

答 健康福祉部長 社会福祉協議会は、住民
やボランティア、市民団体の方々とともに、
地域福祉活動を展開する公共性の高い社会福
祉法人で、いきいきサロン事業やボランティ
ア育成、共同募金運動等に取り組みされてい
る。ボランティアに対する行政の役割は、そ
の活動が根づき、育む土壌づくりにある。今
後、本市はボランティア意識の啓発にさらに
努め、ボランティア活動も視野に入れた住民
参加型の地域福祉のさらなる推進に取り組ん
でまいりたい。



橋本 隆一

質問通告

○障がい者支援事業所に従事する職員の研修について
○県立氷川高校跡地における県立特別支援高等学校誘致について

◆障がい者支援事業所に従事する職員の研修について

問 障がいのある方々への地域での生活や介護、また就労を支援するために、障がい者支援事業所の数は、ここ数年ふえている状況にある。そのような中、従事する職員の資質向上を図ることは利用者の福祉向上に大変重要なことであると考ええる。本市においてこれまでの職員研修の内容と実績、また今後の研修体制の確立や計画とその内容について問う。

答 健康福祉部長 事業所職員の研修については、本来事業所が主体的に行うべきものと考ええるが、障がい者と直接支援する事業所職員は大切な社会資源であり、資質向上のために、市としても支援していきたい。これまで、本市では、地域自立支援協議会活動に事業所職員も参加いただき、困難ケースの検討会や勉強会など実施してきた。今後は、さらに、自立支援協議会等の活動の充実強化を図り、県南部発達障がい者支援センター等の専門機関の協力を得ながら研修体制を整備していく。



笹本 サエ子

質問通告

○消費税増税問題について
○TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について
○教育・子育て支援について
○市長の政治姿勢について

◆教育・子育て支援について

問 市長は九月一日執行の選挙公報に、「現在県内最低水準の子どもの医療費助成を高校三年生まで拡充します」とあった。また、本議会の所信表明で第三子保育料無料化の拡大を表明された。どのように実現されるか。あわせて憲法二十六条の教育の機会均等、義務教育の無償化の立場から、学校給食の無償化を検討するつもりはないか問う。

答 市長・教育部長 こども医療費助成は、将来にわたって持続可能な制度となるよう、まずは段階的な対象年齢の拡充を検討する。第三子保育料の無料化は、拡充に伴う影響額等の精査を行い、早い時期に実施できるよう取り組んでいく。学校給食の無償化には年間約五億円の経費が必要となることから、その実施は厳しいと考える。低所得世帯にあっては学校給食費は負担になっていると認識しており、現在、実施している低所得世帯への学校給食に対する就学援助の拡充に努力したい。



大倉 裕一

質問通告

○消費税増税とその影響について
○財政計画の作成について
○雇用行政について

◆消費税増税とその影響について

問 平成二十六年四月から消費税が八％へ引き上げられる。消費税は低所得の方ほど負担率が大きく、引き上げの時期は、景気回復後と考えていただけに残念である。市民生活への影響とさらなる一〇％への対応について市長に伺う。また、消費税引き上げが市の財政に与える影響とその対応、保育料並びに学校給食費に対する考えを問う。

答 市長・総務部長・健康福祉部長・教育部長 市民生活初め本市の経済においても影響はあるものと思う。国において経済状況が好転する施策や低所得者対策を初め、適正な価格転嫁への対策が的確になされることが重要であると認識している。本市に与える影響は、八％の場合四億二千五百万円、一〇％の場合六億七千万円の支出増になると見込んでいる。保育料は国の徴収基準額への影響が不明であり、今後の動向を見て検討する。学校給食費は来年四月から消費税三％相当分を上乗せした額を予定している。



太田 広則

質問通告

- 百円バス（八代市街地循環バス）の現状と課題について
- 平和町におけるバス路線の利用向上について
- 新市長の具体的な行財政改革について

◆百円バス（八代市街地循環バス）の現状と課題について

問 八代市内を循環する百円バスが運行開始してはや三年となり、運行当初に比べると市民の皆様の理解度も増していると考えます。しかし、まだまだ乗りかえがふえたなどの苦情も多く、賛否がはつきりと分かれており、課題も明らかになってきたと考える。そこで、これまでの三路線の利用者数の状況とその課題の解決に向けた具体的な取り組みについて問う。

◆企画戦略部長

答 企画戦略部長 循環バスの平成二十四年度の利用状況は、みなバス十六万八十三人、まちバス二万七千五百七十七人、ゆめバス七万六千四百三十四人で前年度より増加した。郊外と市街地間の移動は、市役所や八代駅、労災病院等の結節拠点で循環バスに乗り継いでもらうことから、時間帯では、待ち時間も長くなることの課題があり、適宜ダイヤ調整をバス事業者へお願いしている。また、運行エリア拡大の要望も多いが、認可上難しい面もあり、総合的な交通体系の検討が必要である。



前垣 信三

質問通告

- 老朽危険家屋対策について
- コンサル業務に対する契約保証金について
- 日奈久地区防火地域指定について

◆コンサル業務に対する契約保証金について

問 コンサル業務受託時に契約額一割超の保証金を預託させられる制度について、市の施行規則では、本市や他の公共団体等で過去二年間に同種同程度の業務を数回以上完工した実績により保証金の免除ができると規定されている。受託費の大半を占める人件費、その上の保証金。完了までの期間は経営圧迫が続く現状を理解し、該当者への免除について問う。

◆総務部長

答 総務部長 契約保証金の納付は、契約不履行等を防止し、契約不履行等による損害賠償の補填を容易にするものである。会計法及び地方自治法施行令に規定され、市では契約規則により、国や県の取扱いに準じ契約金額の一分以上の額としている。契約保証金の免除は、例外的な措置として、適用は慎重に行うべきであると考え。保証会社等を通じた負担が少ない保証制度の利用も選択肢として勧めたい。免除の適用は、他の地方公共団体の状況も参考に今後の課題としたい。



幸村 香代子

質問通告

- 市長・市議会議員選挙について
- 子供のインターネット依存について
- 市長の所信表明について

◆市長の所信表明について

問 今議会冒頭の市長所信表明の中から、男女共同参画の推進についての八代市の現状認識と、市職員の女性管理職登用の推進についてどのような考えか伺う。

◆市長

答 市長 八代市は平成八年に九州初の男女共同参画都市宣言を行い、先導的役割を果たしてきた。しかし性別によって役割を決める考え方が根強く残り、女性の活躍の場が制約されているのではないかと。今後は女性の能力を生かすことが八代の発展につながると考える。女性の社会参加を支援するため、こども医療費や保育料の検討のほか、女性目線での農業、商工業など地域での起業の支援を検討する。また、市役所女性職員の課長級以上の管理職への登用に努める。





堀口 晃

質問通告

○八代・天草架橋建設促進について
○南部幹線道路整備事業の進捗状況について

◆八代・天草架橋建設促進について

問 市長の所信では、「国や県との太いパイプを最大限生かして国政、県政と連動した市政を確立し、八代の経済浮揚を図ってまいります。」と述べている。八代・天草架橋建設促進の期成会が平成元年に発足し、はや二十五年が経過し、いまだ手がかりすらない状況である。市長の言う国や県との太いパイプでこの八代・天草架橋の建設が実現できるのか問う。

答 **市長** これまで、市議会議員二期、県議会議員四期、県議会副議長を務めた経験や人脈を生かして国政、県政と連動した市政を確立し、本市の経済浮揚を図ってまいらる旨、所信を表明した。八代・天草架橋建設促進については、厳しい状況にはあるものの、地元住民の思いや願いを受けとめ、国や県との太いパイプ、信頼関係を最大限に生かして、県南・天草地域と一体となり、橋の必要性や橋がもたらすさまざまな効果について粘り強く訴え続けたい。

建設関連



増田 一喜

質問通告

○市長のマニフェスト実現に向けた取り組みについて
○本市における透析患者への対応について
○本市における末期がん患者の緩和ケアについて
○指名競争入札における指名業者名の事後公表について

◆指名競争入札における指名業者名の事後公表について

問 平成二十五年四月から、建設工事及び建設工事関係業務委託に係る指名競争入札について、指名業者名を「事前公表」から「事後公表」に変更したが、その経緯と変更前の「事前公表」に戻す考えはないか問う。

答 **総務部長** 平成二十五年四月からの電子入札システム導入を契機に、さらなる公正な入札を目指すために、事前公表から事後公表に変更した。変更にあたっては、国の法律施行令を参考に、庁内の工事入札参加者資格審査委員会の審議を経て決定に至った。議会や業者への十分な説明や周知ができなかったこと、県内では事後公表を行っている市町村がまだ少ないことなどにより、混乱を招いたことを踏まえ、変更前の事前公表に戻したいと考えている。事後公表は、今後の課題とする。

経済関連



野崎 伸也

質問通告

○木質バイオマスエネルギー活用計画について
○さかもと温泉センター株式会社について

◆木質バイオマスエネルギー活用計画について

問 今定例会に「木質バイオマスエネルギー活用計画策定」に関する経費、一千万円が補正計上されている。今回策定するに至った経緯と計画の概要、予想される効果について問う。

答 **農林水産部長** 本市は、豊富な森林資源を有効利用するため、木質バイオマスの活用を検討しており、県の新たなエネルギー需給体制の市町村モデル地域支援事業にて、本計画を策定することとした。「木質バイオマスを核としたエネルギーの地産地消のまちづくり」を目標に、燃料として活用する施設や関連企業の誘致等を計画する。効果として、木材の需要拡大による林業の活性化と、森林整備が進むことで地球環境改善など森林が持つ多様な機能の発揮を期待できる。



田方 芳信

質問通告

○畳表張り替え促進事業補助金について
○市長の今後の市政運営について

◆畳表張り替え促進事業補助金について

問 本年度当初予算において七百万円で開始し八月二十六日に予算額に達し、申請者数は、五百五名で七千畳分の張りかえに相当する。配布終了後も市民の方々からの問い合わせも多く、今回五百万円の補正予算を計上しているが、この予算を中国産の畳表を日本産と偽装し、補助金を請求しているところがあるのではないかと問う。

答 農林水産部長 この畳表張り替え促進事業は、畳表の張りかえに対し、一畳当たり千円を補助するものである。この事業で使用される畳表は、八代産としており、その確認はQRコードタグか、生産者が記入・押印した出荷証明書で確認している。八代地域において使用される国産と中国産の比率は、おおむね二対一程度との試算もあるので、本事業により、国産表のよさのPRなどとともに、中国産との価格差が少しでもなくなることで、地元産畳表の使用につながればと考えている。

平成25年度一般会計補正予算

12億7269万1000円

○介護基盤緊急整備特別対策事業

4000万円

住みなれた家庭や地域での生活を継続できるよう在宅介護を支援するため、複合型サービス（一つの事業所で数種類のサービス提供が可能な施設）2施設の整備に補助するもの。

○金剛小学校校舎改築事業

3億5782万2000円

耐震診断により「大地震時に倒壊し、または破壊する危険性が高い」との結果が出ている金剛小学校校舎を改築するもの。

など

議案・請願・発議案など29件を議決

九月 臨時会

去る九月二十日の一日間、臨時会が開かれ、市長から議案四件が上程されました。今回の臨時会は、補正予算の専決処分の報告及びその承認についてであり、審査の結果、承認されました。

また、副市長及び監査委員の選任につき同意を求めることについても、その選任について同意されました。

◆専決処分の報告及びその承認について（平成二十五年八代市一般会計補正予算・第四号）

○補正予算額 五億五千四百九万八千円

農業基盤整備促進事業などに充てる補助金や八月豪雨で被害を受けた市道、林道及び河川などを応急的に復旧した経費です。

◆専決処分の報告及びその承認について（平成二十五年八代市一般会計補正予算・第五号）

○補正予算額 一千二百七十七万八千円

九月豪雨で被害を受けた市道、農道、林道及び河川を応急的に復旧した経費です。

◆副市長及び監査委員の選任につき同意を求めることについて

副市長に永原辰秋氏、監査委員に江崎眞通氏の選任を決定しました。

介

■ 去る9月1日に執行された八代市議会議員一般選挙で選出されました、第3期八代市議会議員を御紹介します。（9月1日現在、50音順、敬称略）



笹本 サエ子
71歳
井上町（日本共産党）



島田 一己
54歳
郡築一番町（無所属）



庄野 末藏
71歳
築添町（無所属）



鈴木田 幸一
62歳
鏡町（自由民主党）



中山 諭扶哉
38歳
日奈久新開町（無所属）



成松 由紀夫
42歳
上野町（自由民主党）



西濱 和博
48歳
横手町（無所属）



野崎 伸也
38歳
日置町（無所属）



堀 徹男
48歳
古城町（無所属）



堀口 晃
50歳
出町（無所属）



前垣 信三
69歳
松崎町（無所属）



前川 祥子
54歳
鏡町（自由民主党）



百田 隆
68歳
平山新町（無所属）



山本 幸廣
66歳
葭牟田町（自由民主党）



矢本 善彦
65歳
植柳下町（無所属）



幸村 香代子
51歳
本野町（無所属）

市議会議員紹



上村 哲三
58歳
坂本町 (自由民主党)



大倉 裕一
43歳
毘舎丸町 (無所属)



太田 広則
54歳
古城町 (公明党)



亀田 英雄
52歳
坂本町 (無所属)



田方 芳信
58歳
高島町 (自由民主党)



田中 安
64歳
本町四丁目 (無所属)



友枝 和明
65歳
千丁町 (自由民主党)



中村 和美
61歳
二見洲口町 (自由民主党)



橋本 幸一
60歳
東陽町 (自由民主党)



橋本 隆一
57歳
鏡町 (公明党)



福嶋 安徳
65歳
千丁町 (自由民主党)



古嶋 津義
69歳
鏡町 (自由民主党)



増田 一喜
62歳
豊原下町 (自由民主党)



松永 純一
63歳
泉町 (自由民主党)



村上 光則
66歳
西片町 (無所属)



村川 清則
61歳
郡築五番町 (無所属)

定!!

市議会では、去る9月20日、改選後初めての臨時会を開き、正副議長を初め、常任委員会委員や議会運営委員会委員の選任など、新しい議会の役職を決めました。

各委員会の構成は次のとおりです。（9月20日現在）

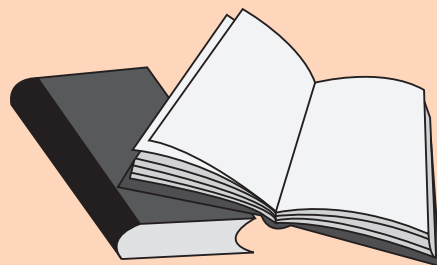
◎印は委員長 ○印は副委員長

総務委員会

《所管事務調査事項》

- 行財政の運営に関する諸問題の調査
- 総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査

◎福嶋	安德	○鈴木田	幸一		
上村	哲三	島田	一已	田中	安
中山	諭扶哉	橋本	幸一	矢本	善彦

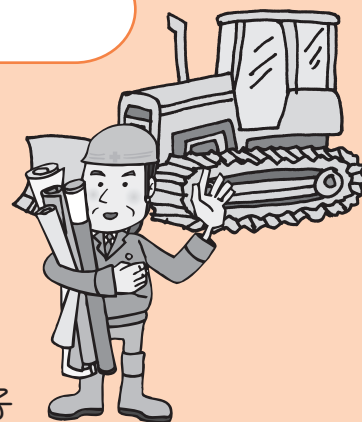


建設環境委員会

《所管事務調査事項》

- 都市計画・建設工事に関する諸問題の調査
- 生活環境に関する諸問題の調査

◎成松	由紀夫	○太田	広則		
大倉	裕一	庄野	末藏	古嶋	津義
前川	祥子	山本	幸廣	幸村	香代子

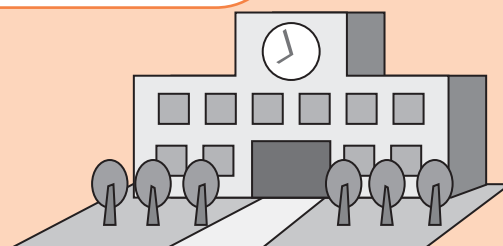


文教福祉委員会

《所管事務調査事項》

- 教育に関する諸問題の調査
- 保健・福祉に関する諸問題の調査

◎中村	和美	○西濱	和博		
友枝	和明	橋本	隆一	堀	徹男
堀口	晃	村川	清則	百田	隆



委員会構成決

経済企業委員会

《所管事務調査事項》

- 産業・経済に関する諸問題の調査
- 水道・病院事業に関する諸問題の調査

◎増田 一喜	○野崎 伸也	
亀田 英雄	笹本 サエ子	田方 芳信
前垣 信三	松永 純一	村上 光則



議会運営委員会

《所管事務調査事項》

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

◎山本 幸廣	○鈴木田 幸一	
亀田 英雄	中村 和美	成松 由紀夫
野崎 伸也	福島 安徳	古嶋 津義
前垣 信三	百田 隆	幸村 香代子



議会広報委員会

《所管事務調査事項》

- 議会の広報等に関する事項

◎田中 安	○松永 純一	
島田 一巳	中村 和美	中山 諭扶哉
前垣 信三	村川 清則	



委員会報告

全ての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、十月三十日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

文教福祉委員会

◆平成二十五年八代市一般会計補正予算・第六号・保育士等処遇改善臨時特例事業について

問 提出された実績報告を市が確認した後での補助金交付となれば、支払い時期は年度末以降になるのか

答 本来精算払いとなるが、概算払いや中間払いも検討してみたい。

問 本事業は単年度であり、人材確保には全くつながらないのではないかと考えるが、来年度以降の対応はどうか

答 平成二十六年度の本事業の実施については、国では明確に示されていないが、平成二十七年度から新たな給付金制度が始まることを考慮すると、何らかの対応がなされるものと期待している。

意見 本事業の趣旨からすれば一刻も早く、働いている保育士の手元に現金として支給されるのが一番望ましいあり方だと思う。市に裁量権があるのであれば前払いの方法など迅速な取り計らいを願いたい。

その他の主な質疑

○認知症施策総合推進事業に係る認知症地域支援推進員の資格要件及び選定方法について

○民生委員・児童委員PR活動補助金交付手続について



経済企業委員会

◆平成二十五年八代市一般会計補正予算・第六号・東陽交流センター「せせらぎ」ボイラー工事について

問 ボイラーの点検状況及び市担当者による点検結果報告書の確認状況について

答 ボイラーの点検については、業者に定期点検を委託しており、点検結果については、写真等も添付された報告書で確認を行っている。一般的に、ボイラーは、使用環境によって耐用年数がかなり変わってくるが、八年目ということもあり、経年劣化が進んだことによるものである。

意見 商工観光部では、ほかにも数多くの施設を所管しているので、施設ごとの更新計画を早急に策定してほしい。

市の施設として、きちんと責任を持って整備した上で、指定管理者に管理をさせるべきである。

その他の主な質疑

○補助採択期間が二カ年度にまたがる緊急雇用創出基金事業における債務負担行為の必要性について

建設環境委員会

◆平成二十五年八代市一般会計補正予算・第六号・道路橋梁施設災害復旧費について

問 災害復旧に当たっては、いち早く原形復旧するために専決処分でもやむを得ないとの意見が、以前から出ているが、九月二十日の臨時会での提案は考えなかったのか

答 国の災害査定を受けて初めて正確な金額が固まるが、今回の査定は九月三日に実施されたため、先の臨時会には時間的に間に合わなかった。また、現場は被災しているものの、通行可能であり支障はないと判断したため、今定例会での補正対応となったものである。

問 通行不能となるような被災を受けた場合の対応について

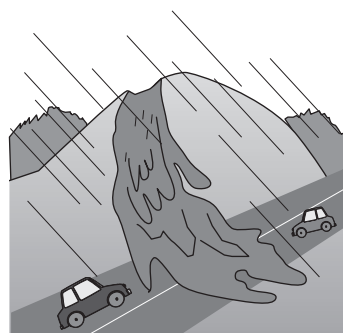
答 道路が寸断された場合には、市の単独予算をもって早急に仮復旧を行い、その後、国の査定を受け、補助事業にて本格的な復旧に当たっている。

意見 災害復旧に関しては、状況によっていろいろなケースが想定されるが、早急に復旧するためにも、必要に応じて、直近の議会で先議案件としたり、緊急であることから専決

処分とするなど、迅速な対応をお願いする。

その他の主な質疑

○国の災害査定の実施時期について
○災害現場での、注意喚起を促す看板設置について



総務委員会

◆平成二十五年八代市一般会計補正予算・第六号・まちづくり交流基金繰入金について

問 本基金の今後の活用策について

答 本基金は、昨年度、約八億八千万円で創設したもので、現在は、九州国際スリーデーマーチを初め、観光振興や地域活性化事業などに活用している。今後は、年間三千万円から五千万円程度、約十年から二十年の期間で、目的に則した事業の財源として活用していく予定である。

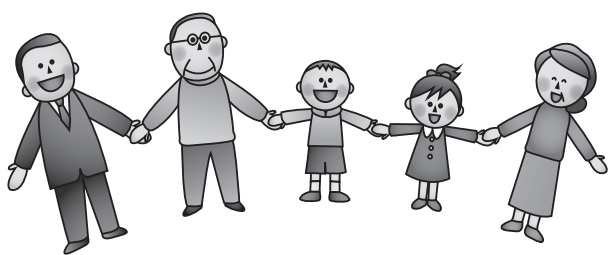
問 この基金は、現在、広く商工費の中で活用されているようであるが、元々、ふるさと市町村圏基金廃止に伴う、本市への返還分による基金であり、これまでの基金の目的を現基金でも生かすべきだと思うが、どのように考えているのか

答 単に既存事業の財源に充当するのではなく、まちづくりのための交流促進に資するような事業に対して活用していきたい。

意見 基金の本来の目的を十分認識した上で、活用していただきたい。

その他の主な質疑

○肥薩おれんじ鉄道の累積赤字について
○地域づくり夢チャレンジ推進補助事業の公募方法について



※橋本幸一議員は議長のため採決には加わっておりません

市議会だより第33号（平成25年9月定例会）14

平成25年9月臨時会採決結果 平成25年9月定例会採決結果

		議席 番 号	1	2	3
件 名		審議 結 果	橋 本 幸 一	田 中 安	田 方 芳 信
平成25年9月臨時会採決結果					
市長提案	◆事 件◆ (2件)				
	議案第 80号・専決処分の報告及びその承認について (平成25年度八代市一般会計補正予算・第4号)	全	○	○	○
	議案第 81号・専決処分の報告及びその承認について (平成25年度八代市一般会計補正予算・第5号)	全	○	○	○
	◆人 事◆ (2件)				
	議案第 82号・副市長の選任につき同意を求めることについて (永原辰秋氏)	全	○	○	○
市長提案	議案第 83号・監査委員の選任につき同意を求めることについて (江崎眞通氏)	全	○	○	○
	平成25年9月定例会採決結果				
	◆決 算◆ (14件・うち12件は、継続審査)				
	議案第 84号・平成24年度八代市水道事業会計決算	全	○	○	○
	議案第 85号・平成24年度八代市病院事業会計決算	全	○	○	○
市長提案	議案第 97号～同第108号・平成24年度八代市一般会計決算及び各特別会計決算11件				
	◆予 算◆ (4件)				
	議案第 86号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第6号	全	○	○	○
	議案第 87号・平成25年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第1号	全	○	○	○
	議案第 88号・平成25年度八代市介護保険特別会計補正予算・第1号	全	○	○	○
市長提案	議案第 96号・平成25年度八代市一般会計補正予算・第7号	全	○	○	○
	◆事 件◆ (1件)				
	議案第 89号・訴えの提起について	全	○	○	○
	◆条 例◆ (6件)				
	議案第 90号・八代市長の退職手当の特例に関する条例の制定について	否	×	×	×
市長提案	議案第 91号・八代市市税条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第 92号・八代市国民健康保険税条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第 93号・八代市道路占用料に関する条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第 94号・八代市営住宅設置管理条例の一部改正について	全	○	○	○
	議案第 95号・八代市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	全	○	○	○
市長提案	◆人 事◆ (11件)				
	議案第109号・人権擁護委員候補者の推薦について (菊川保之氏)	全	○	○	○
	議案第110号・人権擁護委員候補者の推薦について (佐藤タエ氏)	全	○	○	○
	議案第111号・人権擁護委員候補者の推薦について (長廣嘉代子氏)	全	○	○	○
	議案第112号・人権擁護委員候補者の推薦について (太江田久子氏)	全	○	○	○
市長提案	議案第113号・人権擁護委員候補者の推薦について (水野潤一郎氏)	全	○	○	○
	議案第114号・人権擁護委員候補者の推薦について (寺田公子氏)	全	○	○	○
	議案第115号・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (倉野敏郎氏)	多	○	○	○
	議案第116号・教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて (高浪智之氏)	全	○	○	○
	議案第117号・公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて (加藤泰憲氏)	全	○	○	○
市長提案	議案第118号・監査委員の選任につき同意を求めることについて (藤崎智氏)	全	○	○	○
	議案第119号・監査委員の選任につき同意を求めることについて (上村哲三氏)	全	○	○	○
	◆請願・陳情◆ (1件)				
	請願第 3号・青少年健全育成基本法の制定を求める意見書の提出方について	多	○	○	○
	◆発議案◆ (4件)				
議員提案	発議案第 4号・森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書案	全	○	○	○
	発議案第 5号・ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書案	全	○	○	○
	発議案第 6号・地方税財源の充実確保を求める意見書案	全	○	○	○
	発議案第 7号・青少年健全育成基本法の制定を求める意見書案	多	○	○	○

意見書

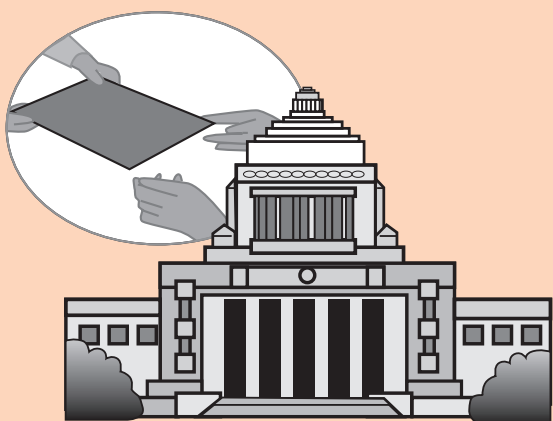
九月定例会において意見書案四件が提出され、原案のとおり可決し、国会及び関係行政庁へ送付しました。

◆ 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

◆ ホテル・旅館等建築物の耐震化の促進に関する意見書

◆ 地方税財源の充実確保を求める意見書

◆ 青少年健全育成基本法の制定を求める意見書



決算審査特別委員会設置

平成二十四年度一般会計及び特別会計決算が九月定例会最終日の十月三十日に上程されました。

同日、委員十一人で構成する決算審査特別委員会を設置し、正・副委員長の互選を行い、調査は閉会中の継続審査に付しました。なお、委員会の構成は、次のとおりです。

委員会開催日	内 容
10月30日(水)	正副委員長互選
11月 5日(火)	決 算 審 査
6日(水)	
7日(木)	
8日(金)	
11日(月)	

委員長	友枝 和明
副委員長	前川 祥子
委員	大倉 裕一
	福嶋 安徳
	古嶋 津義
	堀 徹男
	前垣 信三
	増田 一喜
	村川 清則
	百田 隆
	幸村 香代子

編集後記

朝晩が本格的に冷え込むようになりました。この時期には体調を崩すことが多くなります。市民の皆様には健康に御留意くださいますようお願いいたします。

さて、議会広報紙も三十三回目の発行の運びとなりました。早いもので合併後三期目の市議会も始まり、広報委員会も新たな構成となっております。

議会一丸となつて、市政発展に向け尽力するとともに開かれた議会を目指し、読者視点での編集や特集ページの掲載など検討を重ねてまいります。

皆様に満足できる紙面づくりを目指して、今後も目いっぱい頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。



八代市議会広報委員会

委員長 田中 安
副委員長 松永 純一
委員 島田 一巳
中村 和美
中山 諭扶哉
前垣 信三
村川 清則

